

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう！



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

日本IBMは日本の法律を守れ！

9・15 争議支援行動 人形町へ抗議デモ500人



「日本IBMは、日本の法律をまもれ！」—500人が本社前で抗議 (9月15日・東京・中央区)

「すべての争議の早期全面解決を」と東京地評がおこなった9・15争議総行動。夕方のメイン行動となった日本IBM本社(中央区・箱崎)前行動には、全労連や東京地評傘下の労働組合、JAL争議団、うたごえの仲間、首都圏のJMITUなど500人が社前を埋めました。

社員に有無を言わずその場から社外に閉め出し解雇する日本IBMのロックアウト解雇事件は、今年3月の第1次・2次訴訟東京地裁判決で、「解雇権の乱用であり無効」との判決が言い渡されました。賃金減額裁判で会社側は昨年末、東京地裁の判決が言い渡される直前、「原告の請求をすべて認める」と認諾し、白旗をあげました。しかし、裁判で負けても、みずから違法性を認めても、懲りないのが日本IBMです。

集会で小田川全労連議長は、「多国籍企業といえども無法は許されない。かならず勝利しぬこう」と訴え。JMITUの生熊委員長は、「このIBMを許せば、日本中でロックアウト解雇や一方的な賃金カットがやられてしまう。IBMは裁判で負けても、謝罪をしてもまたやる『懲りない会社』。しかし我われ『負けぬ労働者』。正義はかならず勝利する。引き続き大きな支援を」とよびかけました。

日本IBM支部は解雇事件と減額事件で21人が原告としてたたかっています。大岡支部委員長は、「8月9月と組合加入が連続し、毎日のように労働相談がある。労働組合をもっともっと大きくして勝ち抜く」と決意表明。集会後、人形町までデモ行進。「IBMは退職強要をやめろ」とアピールしました。

「手取り10~15万円」-「これじゃ生活できない」 継続雇用者の賃金・待遇改善は緊急課題

2016年秋闘 21日、全国いっせいに要求提出

JMITUは9月21日、全国いっせいに2016年秋闘要求を提出しました。今年の秋闘の最重点要求は、継続雇用労働者の賃金・処遇改善と時間外労働の規制です。とくに60歳以降の継続雇用労働者の賃金改善は、「年金支給ゼロ」がはじまっているもと、緊急課題です。

厚生年金の支給開始年齢の引き上げにともなう、多くの企業が60歳定年以降の継続雇用制度を設けています。制度発足当初は、賃金が60~50%に下げられても報酬比例部分(およそ7~8万円)を受給することで、なんとかやりくりできました。

しかし、すでに3年前から報酬比例部分の支給も61歳になり、昨年4月2日以降60歳になった人は62歳になるまで2年間、来年4月2日以降60歳となる人は63歳になるまで3年間も「年金ゼロ」となります。

継続雇用者の賃金は多くがよくて24~25万円。なかには17~18万円で「手取り10万円前後」とい

ところもあります。これでは生活でずき、仕事への意欲も出てきません。継続雇用者の賃金改善は経営者にとっても解決すべき緊急の課題です。

JMITUは、職場の世論で経営者に改善を迫ります。賃金差別を違法とした2つの凡例も活用します。

＜長澤運輸と丸子警報器2つの判決＞

「有期契約労働者(嘱託・再雇用等)の職務の内容が正社員と同一にもかかわらず、賃金に相違を設けることは、その程度にかかわらず、これを正当と解するべき特段の事情がない限り、不合理であるとの評価を免れない」(東京地裁・長澤運輸地位確認・賃金支払い請求事件判決 2016年5月13日)

「およそ人はその労働に対して等しく報われなければならない。(同一の仕事にかかわらず)賃金が、同じ勤続年数の女性正社員の8割以下となるのは、公序良俗に違反し違法となる」(長野地裁上田支部・丸子警報器賃金差別事件 1996年3月15日)

南スーダンへの派兵反対！ 9・19 国会 雨のなか2万3000人 戦争法は廃止！ 野党と市民が共闘！

安倍政権による戦争法(安保関連法)強行から1年となった9月19日、国会正門前には雨をつき2万3000人がかけかけました。総がかり行動実行委員会がよびかけました。(写真右)

この日は、各地で雨となるなか全国400カ所以上で集会やデモがおこなわれました。

国会正門前には野党4党の代表が参加。「新代表となったが、野党共闘のスタンスは同じ。つぎの総選挙も市民と野党でしっかりたたかう」(民進党岡田前代表)、「野党と市民の共闘で総選挙をたたかい、安倍政権を倒そう」(日本共産党志位委員長)などとよびかけました。

社民党・福島瑞穂副党首、生活の党・木戸口英司参議院議員(岩手で勝利した野党統一候補)も、



「衆院選でさらに共闘の前進を」とよびかけました。

総がかり行動は10月6日(木)、シンポジウム「戦争法廃止！憲法生かそう！」(東京・北とぴあ、18:30~21:00)を開きます。

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月25日付での発行です。通常号とともに職場のたたかいや経験を、随時発信していきます。支部執行委員はじめ、職場のみなさんに届けてください。